

県北地方における地産地消の取組状況

市町村名	具体的な実施内容
福島市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校給食への地元農産物（米・野菜）の活用</li> <li>○地元農産物の販売 <ul style="list-style-type: none"> <li>・福島研究公園 農産物フェアの開催（9/7） 事業費 928千円</li> </ul> </li> <li>○公共事業における間伐材の利用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・のり面工事の丸太棚及び階段工における間伐材使用</li> <li>・工事看板の枠組みに間伐材を使用</li> <li>・弁天山公園整備 木チップ 54立方<sup>メートル</sup></li> <li>・大森城山公園整備 木チップ 50.6立方<sup>メートル</sup></li> </ul> </li> <li>○農村マニユファクチャー事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・四季の里にある農産加工館において、地元で採れた苺、ラフランス、林檎、桃等を使用しジャム、ジュース等の開発販売を支援した。 補助金 1,200千円</li> </ul> </li> <li>○コラッセふくしまの福島市の施設に県産木工製品のベンチを1階情報ステーションに2脚、12階展望ラウンジに8脚を設置した。</li> <li>○栄養改善指導相談事業に県産食材を使用 56千円</li> <li>○福島市物産展の開催（2/6～2/8 福島ルミネ） 福島市物産振興協会と共同で地元産品の物産展販売を実施</li> <li>○ふくしま産業交流フェア2004の開催（2/13～2/14 コラッセふくしま） <ul style="list-style-type: none"> <li>・福島市と県北地区の産業振興を図るため、製造業の製品展示、受発注を目的としたプレゼン、地元企業と誘致企業の交流会、産学連携の実践発表等を行い、福島のものづくりを内外に発信することを目的に実施。</li> <li>・懇親会において、地元製造業者の製品（パン、醤油、川俣シャモ、蕎麦焼酎等）を用いた料理を供した。</li> <li>・参加企業 36社（製造20、その他16） 研究機関 6社（大学含む） 交流会参加者 93人（うち懇親会参加者 78人） 延べ入場者数 705人</li> </ul> </li> <li>○朝市の開催 福島市公会堂で開催（9/21）</li> <li>○農産物ふれ愛市（10/4～5） 四季の里で、農産物直売と餅つきやリンゴ皮むき競争等のイベントを開催</li> <li>○福島スカイパークフェスタの開催（10/25） 農道空港で航空ショーと農産物直売を実施</li> <li>○四季の里農産加工館において、3年を目途に新たな農業の起業家の育成指導を実施</li> <li>○地元農家に伝わる料理や加工技術の優れた農業者11人を「ふくしま食の匠」として認定し、その技術やノウハウを保存伝承し消費拡大に繋げる。</li> </ul>
二本松市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地元農産物の直売 <ul style="list-style-type: none"> <li>・二本松市生活研究グループ連絡協議会 青空市 月1～2回</li> </ul> </li> </ul>

市町村名	具体的な実施内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JAみちのく安達 こらんしょ市（毎日） 四季のかおり（地元農産物宅配）（年2回） 菊人形物産展（開催期間毎日） 道の駅に直売所を設置</li> <li>・ 産業フェスティバル会場でポン菓子配布しながら地元米のPRをした</li> </ul> ○学校給食における二本松産米（コシヒカリ）使用 3.93ト ※平成16年1月から中学も給食開始
桑折町	○水田の転作として小麦生産を行い、小麦うどん等を町内の施設で活用 ○関連団体が町産間伐材を利用して木工品を製作してイベントで宣伝販売 ○町内産の桃を利用してアイスクリーム、瓶詰めに加工して販売
伊達町	○学校や病院給食に町内で採れた野菜や果物を使用（伊達町まごころ会） ○福島駅のキヨスクイベントに参加し野菜や果物を販売
国見町	○学校給食に町内産の材料（転作麦、大豆）を使用し、その価格差が生じた場合に町が負担 ソフト麺3回 食パン1回 豆腐数回 また、町内産野菜や果物を時期に応じて使用
梁川町	○学校給食における地元野菜の活用。
霊山町	○特産のイチゴを使用した菓子を町内菓子業者、町民から募集し、応募のあった20点を掛田のJA加工所に展示。同時に、直売コーナーを設けジャム、シロップ等を販売し、霊山産イチゴのPRを行った。
月舘町	○つきだて花工房で使用する野菜を農家から直接購入した（250千円） ○町内で生産された小麦「絹吾妻」を100%使用した「お手姫うどん」を販売（企業組合で実施）
飯野町	○木造トイレを建設の際に材木に県産材、地域材を使用 石工事に県産を使用
安達町	○学校給食は完全米飯給食であり米全部を地元産でまかなっている。旬の野菜は地元産を使用している。
大玉村	○学校給食に村内生産の米を使用 ○ふれあい広場内に野菜直売所を開設し直売している ○村内生産の農産物を活用し、酒や食品を開発 地酒『田植えおどり』 そば焼酎『大いなる田舎あだたら』 そば団子、米味噌

市町村名	具体的な実施内容
本宮町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校給食における地元産米、野菜、豚肉の活用。</li> <li>○J A本宮農産物加工センターで地元米、大豆を使用した味噌を製造販売</li> </ul>
白沢村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校給食における地元産食材の活用。</li> </ul>
岩代町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○町有林、町内林を利用した直売所の建設</li> <li>○町特産物（ふきずくし）を土産、イベント商品、景品として積極的に利用</li> <li>○学校給食の米全部を地元産でまかなっている。旬の野菜は一部地元産を使用している。</li> </ul>
東和町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東和町活性化センターを活用し、地元産品を利用してアイスクリーム、桑の葉パウダー等特産品を開発販売している。</li> <li>○東和町活性化センターとコラッセふくしまにおいて野菜の直売所を設け販売に注力している。</li> <li>○学校給食に地元産農産物を活用している。</li> <li>○パートナーシップ事業により、大豆の地産地消と産品開発を行っている。</li> </ul>

**県中地方における地産地消の取組状況**

市町村名	具体的な実施内容
郡山市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市立保育所給食における地元産米の活用               <ul style="list-style-type: none"> <li>・市立保育所 26ヶ所</li> </ul> </li> <li>○市立小・中学校における地元特産品、農産物の活用               <ul style="list-style-type: none"> <li>・鯉：加工品として鯉のすり身0.5トン、鯉つみれ（冷）0.7トン使用</li> <li>鯉：2回（11月、1月）導入校71校 納入者：県南鯉養殖漁業協同組合</li> <li>・米：週3回</li> <li>銘柄：ひとめぼれ（郡山市産米「あさか舞」）、納入者：JA郡山</li> <li>4月～9月の使用量：136.8トン</li> <li>10月～3月の使用量：93トン</li> </ul> </li> <li>○食生活改善推進員の研修会・調理実習における地元農産物の活用</li> <li>○サマーフェスタ in koriyama 2003「ビール祭」               <ul style="list-style-type: none"> <li>地元の特産品を取り入れた料理を出品</li> <li>・期間：8月6日（水）～10日（日）</li> <li>・場所：開成山公園自由の広場</li> </ul> </li> <li>○健康料理コンクール               <ul style="list-style-type: none"> <li>年1回実施（15年度は9月13日 本審査）</li> </ul> </li> <li>○生産農家と市場関係者との懇談会を実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>地元農産物の生産振興と消費拡大を目的に、情報・意見を交換</li> <li>・生産農家：郡山農業青年会議所会員</li> <li>・市場関係者：青果部卸売・仲卸業者</li> </ul> </li> <li>○地元産材等の利用促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・郡山産木材を天板に使用した教室用机の導入</li> <li>小学校4年生、中学校1年生用机 7,074台 事業費 98,342,746円</li> <li>・郡山産木材を使用した保育所の建設</li> <li>市立保育所 1ヶ所（田村保育所）</li> <li>・郡山産木材を活用した市立小学校の建設</li> <li>校舎新築 1校（湖南小学校）、屋外運動場増改築 1校（多田野小学校）</li> <li>・郡山産木材を活用した教卓の導入</li> <li>120台（小学校100台、中学校20台）</li> <li>・ふれあいセンター建設：地元産の木材や地場産品を随所に使用し竣工</li> <li>・地元材料を地元木材加工協同組合で製材加工したものを使用するようにしている。</li> <li>・その他の建設工事においても、地元産資材の積極的な活用促進を工事特記仕様書に明記して工事を進めている。</li> </ul> </li> <li>○郡山産木材利用推進協議会による郡山産木材利用推進事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・郡山産木材のPR活動事業</li> <li>10/19 郡山の農業・観光物産展への出展</li> <li>10/26 市場まつり、県林業祭への出展</li> <li>・郡山産木材のネーミング募集事業</li> <li>10/19 郡山の農業・観光物産展での優秀作品の表彰</li> <li>・広報こおりやま12月号への原稿掲載</li> </ul> </li> </ul>

市町村名	具体的な実施内容
	<p>○郡山の農業・観光物産展における地産地消の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期間：10/17～10/19 場所：郡山総合体育館</li> <li>農林水産物、民芸品直売コーナーの設置、各種イベントの実施</li> </ul> <p>○地産地消推進懇談会の実施（11/17）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産農家関係者と市場関係者により、地元農産物の生産振興と消費拡大を目的に、情報・意見を交換した。</li> </ul> <p>○J Aと市場関係者による情報交換会の実施（2/20）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消に関することのほか様々な情報・意見を交換した。</li> </ul> <p>○市町と議長を囲む農業委員（各地区代表）の懇談会の実施（2/19）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業委員15名と市長・議長が、各地区の農業の実情について意見を交換した。懇談会後の食味会において、地元特産物を活用した料理を広くPRした。</li> </ul> <p>※友好都市訪問団来郡時用手土産の購入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>会津塗ボールペン 24本 41,667円</li> <li>会津塗しおり 10枚 3,412円</li> </ul>
須賀川市	<p>○学校給食における地元農産物の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米は、100%地元産（コシヒカリ1等米）を使用。また、農産物等は取引業者を通してできる限り地元産を購入</li> <li>・地元で収穫された農産物を取り入れ、学校毎の形態に合った給食の献立を立て実施している。購入先については、学区内の地元の農家、取引業者（須賀川産を指定）、J Aあぐりすかがわ岩瀬農産物直売所を利用している。</li> </ul> <p>○「すかがわ産地デー」の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小学校14校、中学校8校全校で、各校自ら取組みについて決定し、年間計画に基づき「すかがわ産地デー」を実施、教育委員会では毎月、計画書及び実績報告書の提出を受け、J Aあぐりすかがわ岩瀬農産物直売所との打合せ等を行い、調整をしている。</li> </ul> <p>○「須賀川市健康アップ21」保健計画の第4章「健康づくりをすすめるために」の中における栄養・食生活の領域で、「地元産の食品を利用する者の増加」という目標を設定した。</p> <p>○食生活改善推進員による「地元の新鮮な農産物の活用」の普及として、推進員手作りの「健康カレンダー」に、地場産品を食材とした手作り料理を写真で掲載している。</p> <p>○農産物直売所「はたけんぼ」の設置（J Aすかがわ岩瀬）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6月3日オープン 年間販売目標金額 5億円</li> </ul> <p>○農産物直売所「はたけんぼ」の施設建設費への補助（岩瀬地方5市町村）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業費総額：257,958,909円</li> <li>補助金額：24,600,000円（内須賀川市 21,361,000円）</li> </ul> <p>○おはよう青空市の開設（須賀川市青空市場運営協議会）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来店者累計 約9,500人（9月21日現在）</li> </ul> <p>○須賀川産品の展示・販売・PR活動（須賀川産品PR会）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月10日（木）～14日（月）の5日間、郡山駅ピボットにて実施</li> <li>販売品目 23種</li> </ul> <p>○すかがわ産業フェスティバルにおける地産地消の実践・PR（10/25,26）</p>

市町村名	具体的な実施内容
	<p>○おはよう青空市場の開設（須賀川市青空市場運営協議会） （～12/28 毎週日曜日）</p> <p>○そばまつりの開催（11/9 ふれあいの里 東山）</p> <p>○鉢物・枝物展示会の開催（すかがわ岩瀬花き品評会実行委員会） ・地元産花きの展示・販売（12/20・21）</p> <p>○懇談会の開催 ・今年度は4回、三方部（三方部代表、東部、西部、中部）ごとに、学校給食関係者、生産者、食品納入業者、JAあぐりすかがわ岩瀬農産物直売所代表、市の関係部局による懇談会を開催。それぞれの立場から農産物の品質や使用状況について、意見の交換を行った。 &lt;懇談会開催日&gt;9/29・12/16・1/21・1/23 &lt;内容&gt; ・地元からとれた旬の野菜、果物等、生産者氏名が分かることにより、子ども達は身近に感じ、残菜が少なくなった。 ・生産者からは「安全で信頼のおけるものを作る努力をしている。生産した物を学校で使って、目に見えるところで消費するのは良いことである。」との発言があった。</p> <p>○市広報によるPR活動 ・16年2月号：「健康だより」市食生活改善推進員活動：地元の野菜を利用しましょう ・15年11月号：「すかがわ産地デー」</p>
長沼町	<p>○地元産農産物の加工販売…そば粉、なたね油、大豆の加工品 ・藤沼温泉「やまゆり荘」での手打ちそば・天ぷら販売 ・JAすかがわ岩瀬農産物直売所「はたけんぼ」での手打ちそば、豆腐の販売（6月3日～）</p> <p>○直売所での地産地消の実践…なたね油、きな粉、野菜、加工品、工芸品ほか ・JAすかがわ岩瀬農産物直売所「はたけんぼ」（6月3日～） ・町施設での販売（藤沼温泉「やまゆり荘」・水と緑のふれあいランド管理棟）</p> <p>○イベント等における地産地消の実践…なたね油、きな粉、地酒、そば、野菜ほか ・さくら祭り（4月19日・29日、長沼城址、藤沼湖自然公園） ・ながぬま子供まつり（5月5日、長沼町民体育館） ・朝市（8月12日、役場前駐車場：朝市実行委員会） ・フェスティバルinふじぬま（8月24日、藤沼湖自然公園：フェスティバルinふじぬま実行委員会） ・第19回長沼まつり・北海道長沼町物産展（9月13日、町内：長沼まつり実行委員会・長沼町観光物産振興協会） ・農産物品評会・即売会（11/2,3 長沼町民体育館） ・商工まつり（11/3 長沼町営野球場：長沼町観光物産振興協会） ・第3回新そばまつり（11/24 農村環境改善センター：新そばまつり実行委員会）</p>

市町村名	具体的な実施内容
鏡石町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○イベントにおける地産地消の実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・あやめフェスティバルでの農産物の販売（6/22）</li> <li>・朝市の開催（11/30、12/28）場所：役場駐車場 主催：朝市友の会</li> <li>・J Aまつりの開催（11/9）場所：J A鏡石支店 主催：J A</li> <li>・青空市の開催（1～3月までの毎週日曜日） 場所：高野池駐車場（白鳥飛来地） 主催：鏡石町産業振興協議会</li> </ul> </li> <li>○学校給食における地元農産物の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・米、キュウリ、ねぎ、きのこ類</li> </ul> </li> </ul>
岩瀬村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○イベントにおける地元産品の販売 （せんべい、お茶、竹炭、アイスクリーム） <ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーンロードレース大会（6/8）</li> <li>・ふるさと祭り（6/29）</li> <li>・2003ふくしまビッグフェア（8/23～24）</li> <li>・村民運動会（9/7）</li> </ul> </li> <li>○農産物直売所への販売 <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月～9月 410,947円（豆腐、せんべい、お茶、竹炭）</li> </ul> </li> <li>○産業文化祭における農産品の販売 <ul style="list-style-type: none"> <li>・11/1、2 野菜の販売、加工品の販売</li> </ul> </li> <li>○学校給食における地元産品の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1/26 豆腐24丁、味噌6k g</li> </ul> </li> <li>○J A直売所における販売 ・豆腐 毎週40丁</li> </ul>
天栄村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○天栄村人会での利用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤーコンうどん等 事業費 225千円</li> </ul> </li> <li>○敬老会での利用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地酒等 事業費 2,630千円</li> </ul> </li> <li>○羽鳥湖畔マラソン大会での記念品に利用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・凍みもち等 事業費 450千円</li> </ul> </li> <li>○ジョイントP R in羽鳥での無料配布に利用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩瀬きゅうり等 事業費 57千円</li> </ul> </li> <li>○学校給食での食材として利用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元産野菜、米 等 事業費 1,370千円</li> </ul> </li> <li>○天栄村産梅の販売促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・梅（80k g） 事業費 39千円</li> </ul> </li> <li>○秋の文化祭での利用（11/9,10） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤーコンうどん等 事業費 62千円</li> </ul> </li> <li>○テニス大会での利用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤーコンうどん等 事業費 43千円</li> </ul> </li> <li>○農林産物品評会での利用（11/2,3） <ul style="list-style-type: none"> <li>・リンゴ等 事業費 63千円</li> </ul> </li> <li>○役場内会議、視察説明での利用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・リンゴジュース 事業費 10千円</li> </ul> </li> <li>○学校給食での食材として利用（10月～3月） <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元野菜、米等 事業費 980千円</li> </ul> </li> </ul>

市町村名	具体的な実施内容
	<p>○かまっこ祭りでの利用 (2/21, 22)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤーコン加工品等 事業費 249千円</li> </ul>
石川町	<p>○夕市の開催 8月～10月第2・4土曜日に開催中 (担当：産業振興課) 実施主体：光福村</p> <p>○学校給食における地元農産物の活用 (担当：産業振興課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沢田小中学校 (4月～水、日曜日を除く毎日納入) 月3～4万円の売上高</li> <li>・南山形小学校 (5月～水、日曜日を除く毎日納入) 月3～4万円の売上高</li> </ul> <p>○農産物直売所の開設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あぶくま安心館 14年9月～ (担当：JAあぶくま石川営農部)</li> </ul> <p>○市町村広報誌によるPR活動 (担当：総務課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町広報誌12月号に「農」をテーマとし掲載済。</li> </ul> <p>○地元産材活用による堆肥舎建設 (担当：産業振興課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2/29完成 実施主体：谷地竹ノ内堆肥利用組合</li> </ul>
玉川村	<p>○学校給食における地元産米の活用</p> <p>○こぶしの里センター (地元直売所) での地元農産物のPR・販売</p>
平田村	<p>○村イベントにおける地産地消の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芝桜祭りの際の青空市 (4月26日～5月20日)</li> <li>・ジュピアランドフェスタの際の青空市 (9月7日)</li> <li>・村文化祭の際の青空市 (11/3)</li> </ul> <p>○学校給食の一部について地元農産物の活用</p> <p>○保育所 (2ヶ所) 給食の一部について地元農産物の活用</p> <p>○ひらた高原朝採り野菜の会による近隣スーパーとの契約販売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5～9月ヨークベニマルいわき市4店舗、小野町2店舗</li> <li>・10～12月ヨークベニマルいわき市4店舗、小野町2店舗、須賀川2店舗</li> </ul> <p>○むら自慢づくり30人衆委員会による地産地消の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土用の丑の日地元産牛 (ひらた牛) 肉注文販売 (7/18)</li> </ul> <p>○米生産調整の消費純増策による酒米の消費 (2/10)</p>
浅川町	<p>○学校給食における地元農産物の活用</p> <p>○農産物直売所 (まごころ) における販売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜、米、花卉、農産加工品、民芸品、卵、自転車、自然酵母の手作りパン</li> </ul> <p>○特産品開発検討委員会設置及び地域興しマイスターによる指導・助言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源調査検討会 (6/26)、特産品創出検討会 (7/30)</li> </ul> <p>○産業祭における地元農産物の即売及び木工体験教室 (11/3)</p> <p>○特産品開発検討委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発に係る意見発表 (10/17)、作物検討会 (11/19)、特産品選定について意見交換 (1/22)</li> </ul>

市町村名	具体的な実施内容
古殿町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校給食における地元農産物（米、野菜等）の活用</li> <li>○集会施設の建設における県内産材の使用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月31日完成予定 スギ材等27.46m<sup>3</sup></li> </ul> </li> <li>○地元産材によるゴミステーションの建築（13棟、10,000千円）</li> <li>○いきいき遊里工房（町立の老人生きがい対策施設）にて間伐材によるプランター、ベンチ等の製作、販売</li> <li>○町文化祭における老人作品展の展示物の即売（10/31～11/2）</li> </ul>
三春町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地区住民が取り組んでいる農産物等直売所：（下記はすべて有人） <ul style="list-style-type: none"> <li>・かご市（三春の里田園生活館内）：毎日／通年</li> <li>・さわ市（壺番館内）：毎日／通年</li> <li>・ぱりっとやおや市（岩江地区）：日曜日</li> <li>・大空会（貝山地区）：土曜日</li> <li>・百円ショップ（斎藤地区）：毎日（4月～11月まで）</li> <li>・朝市の会（御木沢地区）：金曜日朝</li> <li>・磐州市（旧町内）：月1回（4月～12月まで）</li> </ul> </li> <li>○行政サイドの取組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校（米飯）給食における町内産米の導入（12年度から全校で実施）</li> <li>・農産物の品質保証制度の生産者及び消費者への浸透を目指す（かご市で実施中）併せて町全体の制度として確立させるためのシステム化を検討</li> <li>・新規作物、特産品開発の検討</li> <li>・新規就農者の参入条件緩和の検討</li> </ul> </li> </ul>
小野町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○広報おのまちによるPR活動（毎月）</li> <li>○直売所の開設 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小野町農協ファーマーズマーケット部会による郡山市直売施設「愛情館」への出荷</li> <li>・同部会による農協会館前での朝市開催（5月～毎日曜）</li> <li>・小野町直売所協議会による常設直売所（土、日、祝）</li> </ul> </li> <li>○ミネラル野菜栽培の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・家畜排泄物等を利用した健康な土からとれる安全でおいしいミネラルの豊富な野菜の栽培を推進し、モデルほ場で生産された農産物の試食会を開催。</li> <li>・7月8日の「おやつ教室」にミネラル栽培のキュウリを使用（8月号）</li> <li>・広報への掲載によるミネラル野菜情報周知（4月号～9月号）</li> <li>・また、ミネラル野菜を使ったレシピ等を広報誌にて紹介。</li> </ul> </li> <li>○町産業祭における地産地消の実践（10/25、26）</li> <li>○給食における地元農産物の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・農協（皮箆石JA女性部）が主体となり、町内保育園（夏井おおすぎ保育園）に要求のあった地元農産物を毎日宅配（5月～）</li> <li>・町産業祭・農産物品評会に出品された野菜等を保育園・学校等の食材として提供した。（10/26）</li> <li>・小野新町小学校において、おの市（直売）と学校との直接契約により週一度食材を購入している。</li> <li>・JA小野町女性部が町内保育園に野菜等を提供（11/25）</li> </ul> </li> </ul>

市町村名	具体的な実施内容
滝根町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○町観光施設（あぶくま洞）において地元農産物の直売</li> <li>○町交流宿泊施設（針湯荘、ふれあい館）において地元農産物の直売</li> <li>○学校給食における地元農産物の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・米飯に滝根産米使用、その他地元農産物を積極的に使用</li> </ul> </li> <li>○公共事業における地産地消の実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事標識に福島県産間伐材を使用</li> </ul> </li> <li>○地域における農産直売所 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ばんかた市場（9月13日オープン、無休）</li> <li>・星の里（8月初旬オープン、無休）</li> <li>・かあちゃん朝市（毎週日曜日）</li> <li>・こだわりのみせや（毎週土曜日）</li> </ul> </li> <li>○産業文化まつり等のイベントにおける地産地消の実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・星の村文化まつり農産物品評会（10/25, 26）</li> <li>・畜産祭（10/26）</li> </ul> </li> <li>○料理コンテストの開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・田村郡で生産されている代表的な野菜を用いた料理コンテストを実施（地域づくりサポート事業）</li> </ul> </li> </ul>
大越町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校給食における地元農産物の積極的な活用</li> <li>○農産物直売所のPR活動（おおごえふるさと館）</li> </ul>
都路村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○イベントにおける地産地消の実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「みやこじ味緑いっぱい！遊楽市・森林のおまつり」開催（9月21日） 遊楽市による農産物市や都路牛焼肉コーナーで都路産の物を食してもらった森林のおまつりでは工作体験コーナー等をとおして都路産材のPRや活用をはかった。</li> </ul> </li> <li>○農産物直売所の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・村内2団体（2店舗）開設済み</li> </ul> </li> </ul>
常葉町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校給食における地元農産物の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・米飯は全て地元産米、計 11,265kgを使用</li> <li>・8月29日にピーマン2kgを使用</li> <li>・その他地元農産物を積極的に活用</li> </ul> </li> </ul>
船引町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○イベントにおける地産地消の実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・町商工会のふねひき夕市（6月～10月までの毎月第4土曜日）</li> <li>・JAたむら女性部のふれあい直売所（毎週土曜日）</li> </ul> </li> <li>○農林産物直売所の開設 <ul style="list-style-type: none"> <li>・旬菜かたそね直売所（4月25日オープン：毎週金・土・日曜日）</li> </ul> </li> <li>○学校給食における地元米の活用</li> </ul>

**県南地方における地産地消の取組状況**

市町村名	具体的な実施内容
白河市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○しらかわの名物「食」づくり事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな白河名物の食を発掘するため、地元で採れた食材を使った料理コンテストを開催した。</li> </ul> </li> <li>○農産物直売所の広報</li> <li>○学校給食での地元食材の優先利用</li> </ul>
西郷村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校給食での地元食材の利用               <ul style="list-style-type: none"> <li>実績 ジャガイモ (705kg 97千円)</li> <li>米 (8,500kg 1,352千円)</li> </ul> </li> <li>○学校給食に地元産品メニューを導入               <ul style="list-style-type: none"> <li>実績 ぼてとまんじゅう (2,155個 226千円)</li> </ul> </li> <li>○地場産品開発や販売に関するセミナー開催</li> </ul>
表郷村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県産材を利用した机、椅子の導入               <ul style="list-style-type: none"> <li>実績 97セット</li> <li>事業費 2,343千円</li> </ul> </li> <li>○学校給食での地元産米の利用               <ul style="list-style-type: none"> <li>実績 コシカカリ (7,106kg 2,761千円)</li> </ul> </li> </ul>
東 村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校給食での地元産米の利用               <ul style="list-style-type: none"> <li>実績 6,600kg</li> </ul> </li> <li>○地場産品を利用した加工品の販売               <ul style="list-style-type: none"> <li>実績 きゅうり、梅、ヤーコン、人参等</li> </ul> </li> </ul>
泉崎村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校給食での地元食材の利用               <ul style="list-style-type: none"> <li>実績 キュウリ、ネギ、ニラ、ハクサイ、ダイコン</li> </ul> </li> </ul>
中島村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農産物直売所の売上               <ul style="list-style-type: none"> <li>実績 645千円</li> </ul> </li> </ul>
矢吹町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校給食での地元産米の利用               <ul style="list-style-type: none"> <li>実績 玄米 (9,630kg 3,572千円)</li> </ul> </li> </ul>
大信村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地元産野菜を村内小中学校、保育所給食に活用               <ul style="list-style-type: none"> <li>実績 ジャガイモ、インゲン、シイタケ、ブロッコリー、ニンジン、ネギ、キュウリ、ホウチヤ、ダイコン、ハクサイ、ヤーコン、サツマイモ 計2,084kg</li> <li>事業費 640千円</li> </ul> </li> <li>○ヤーコンジャム製造               <ul style="list-style-type: none"> <li>実績 @140g 1,103個</li> </ul> </li> </ul>

市町村名	具体的な実施内容
棚倉町	○農産物直売所における地元野菜、花木の販売 ○学校給食での地元産米の活用 実績 668回（米飯） 事業費 7,505千円
矢祭町	○県産材による看板の設置及び集会施設の建築 実績 245セット 実績 道路工事板 3ヶ所 15千円 案内看板 1ヶ所 1,292千円 ○学校給食での地元食材の利用 実績 米、卵、豆腐、油揚げ、タマネギ、長ネギ、ジャガイモ、サトイモ、サツマイモ、 ハクサイ、ネギ、ホウレンソウ、ニンジン、シイタケ、コマツナ、ダイコン、ミソ、タマゴ、トウモロコシ、 イモ、イチョウ 事業費 2,231千円
埴町	○間伐材を利用した机、椅子の購入 実績 245セット 事業費 5,215千円
鮫川村	○学校給食、村内宿泊施設での地元食材の利用 実績 米、ジャガイモ、ニンジン、ゴボウ、トマト、里芋、インゲン、白菜、 大根、ブロッコリー、タマネギ、椎茸

**会津地方における地産地消の取組状況**

市町村名	具体的な実施内容
会津若松市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地産地消協力農業者制度の創設            地産地消事業に協力でき、栽培履歴の公表ができる農家の方を対象に募集を行い、地産地消協力業者として登録する。登録された協力農業者を中心に集団給食への食材提供や、地産地消事業で用いる農産物を使用する。            3/12現在 28名登録</li> <li>○学校給食            2学期より地元食材の納入学校に対して月に1回程度、地元農産物を中心とした給食を実施。</li> <li>○地産地消協力店登録制度の制定            地産地消事業に協力いただける販売店、旅館・飲食店、加工業者を対象に募集を行い、地産地消協力店として登録する。この協力店を中心に生産・流通・加工・消費のサイクルを活性化すると同時に、市民への地産地消の啓蒙活動を促進させる。            3/12現在 58業者登録</li> <li>○地産地消の広報活動            「会津若松市地産地消推進ホームページ」を開設し、地産地消の意味や取組、会津伝統野菜のPR、協力農業者・協力店・直売所の紹介等を実施している。</li> <li>○地元産品の消費拡大            会津産大豆の消費拡大に向けて、健康料理教室等を開催。</li> <li>○地産地消意見交換会            H16. 2. 17に市内消費者団体及び直売団体を交え、地産地消関連事業の説明及び意見交換を行った。</li> </ul>
喜多方市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農林水産物            農産物直売所の設置促進（現在4カ所）            地元産小麦を原料とする喜多方ラーメンの実現を目指した小麦栽培実証展示の設置（2年目）</li> <li>○木材            公共施設建設に地元間伐材を使用（平成15年度事業）</li> <li>○学校給食            地元産漆を使用した食器の導入            地元産野菜の導入（33品目）</li> <li>○イベント等            ふれあい喜多方農業まつりの開催（地元産品のPR及び即売等）</li> </ul>
北会津村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○村内ホテルの森公園で野菜・果樹・花卉の直売を行っている。</li> </ul>

市町村名	具体的な実施内容
熱塩加納村	<p>○農産物の直売 村地域保健福祉センター「夢の森」の敷地内にて、JA会津いいで熱塩加納女性部による低農薬・有機農産物の販売</p> <p>○学校給食 村立小学校において、地元で生産する有機無農薬農産物を使った安全な学校給食の提供</p>
塩川町	<p>○各直売会 町主催のイベント等への参加（6/22花しょうぶ祭り） 認定農業者協議会主催の直売会（9/20お彼岸直売会、11/2農業まつり）</p> <p>○学校給食 町内の小学校のうち、学校栄養職員の配置のある塩川中学校、塩川小学校において平成14年度から導入</p>
山都町	<p>○学校給食 町内の農家に納入可能な品目を選定してもらい、出荷希望者を募集し、品目を選定した。（4品目） 納入にあつては低農薬に努めてもらった。軌道に乗れば、品目を増やしていきたい。</p>
西会津町	<p>○にしあいづ健康ミネラル野菜 町が健康な町づくりの一環として平成10年度から取り組んでいる。現在、生産者で構成される「にしあいづ健康ミネラル野菜普及会」が中心となり、ミネラル野菜を直売所で販売するほか、町内の小中学校や社会福祉施設、振興公社が運営するレストランへ米や野菜などの食材を提供している。</p>
高郷村	<p>○地元産野菜の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソバ ふれあいランド高郷にて雷神ソバとして販売</li> <li>・大豆 東羽賀集落営農組合にて、小鈴納豆、きな粉に加工し販売</li> <li>・各種野菜 農協女性部、ふれあいランド高郷にて販売</li> <li>・米 酒やみそに加工販売</li> </ul>
猪苗代町	<p>○農産物直売所の設置 「いわはし館」内に農林水産物直売所を設置し地元野菜等を販売している。現在約90名の農家が出荷している。 H15販売額（2月末現在）14,176,020円</p>

市町村名	具体的な実施内容
会津坂下町	<p>○学校給食 りんご、アスパラ・ジャガイモ・きゅうりの4品目及び米については、地元産を使用</p> <p>○直売所 地元野菜等の直売所を町内に3カ所設置</p> <p>○加工所の設置 地元産農産物の加工所を3月に立ち上げ、地場産品の消費拡大を図る。</p>
柳津町	<p>○学校給食</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たもぎ茸 年間を通し1ヶ月に3～4回利用</li> <li>・米（ひとめぼれ） 週3回の米飯日に年間通して利用</li> <li>・じゃがいも、きゅうり 9月に1回のみ地場産品野菜として利用</li> </ul> <p>○商品券発行 地元商工業者の利用による消費拡大及び商工業振興を目的に、プレミアム(10%)付き商品券「やないづ福満商品券」を1千万円発行。</p>
会津高田町	<p>○学校給食 地元農産物の導入を積極的に推進し、昨年度よりも品目を増やしている。(10品目)</p> <p>○公共施設への県産材利用 H17・18に建設予定の統合小学校の建設にあたり、地元木材を使用することとした。(関係者への説明会にて)</p>
会津本郷町	<p>○炎の郷・向羽黒山城跡ふれあい茶会 会津本郷焼はもとより、会津漆器、三島桐等の地場産品を使用した野点茶会であるが、茶菓子においても、町内の3店舗の和菓子匠により、会津本郷町をイメージできる和菓子を新規に製作し、現在も販売を行っている。</p> <p>○学校給食 地元産米を学校給食に使用。(週3日実施)</p>
新鶴村	<p>○学校給食 村内で生産された農産物を学校給食に提供。(野菜、果物)</p> <p>○イベント 新鶴温泉ワイン祭りでの「新鶴産牛」等の地元産品のPR及び消費拡大</p>

市町村名	具体的な実施内容
金山町	<p>○学校給食 生活排水の全く入らない清らかな水で栽培された「コシヒカリ」「大源流米」（大源流は金山町の登録商標）を町内4カ所ある学校へ学校給食米として提供している。 低農薬で栽培された安心、安全な野菜（現在はジャガイモのみ）を学校給食へ提供している。</p> <p>○直販 町内の生産者が低農薬で栽培した野菜を、町内の直売所（無人販売所）で販売している。</p> <p>○地酒 酒米、水共に町内産のものを使い、さらに地元出身の杜氏のいる酒造会社で醸造した酒を町内で販売している。（会員制）</p> <p>○アザキ大根 町内に自生している辛味大根（当町ではアザキ大根 ※アザキは金山町の登録商標）を栽培し、町内のそば屋で薬味として使用している。</p>
昭和村	<p>○学校給食 村内小中学校の学校給食での地元産米の使用。年間2,431kg</p> <p>○施設給食 特別養護老人ホームでの地元産米使用。年間1,800kg</p>

南会津地方における地産地消の取組状況

町村名	具体的な実施内容
田 島 町	<p>○学校給食での推進 小学校における給食で、地元産の米や野菜（アスパラガス）、りんごなどを活用し、地産地消を推進している。</p> <p>○農産物の直売による推進 農産物の地元消費と農家収入の向上を目的に、既に整備されている直売所や商店街空き店舗を利用した直売が生産者グループ等で行われており、町としても直売にかかる情報を提供するなどの支援を行なっている。</p> <p>○「道の駅たじま」における農林産物の直売 「道の駅たじま」では、地元で生産される野菜、果物、きのこ、山菜などの農林産物の直売が実施されている（このことにより、観光客への地場産品の提供や農林産物の地元消費につながっている。）。</p> <p>○公共施設への地場産材活用 ・町が発注整備している公共施設の整備事業において、地元の杉や松などの地場産材を利用している。 ・PR・啓蒙活動の一環として地場産材を使用した町有建築物に対して、ブランド名を明記した木製表示板を掲示している。</p> <p>○推進組織における検討作業への参画 ・田島町地域住宅計画（ホープ計画）推進事業において、民間団体等が中心になって組織されている「田島町地場産材活用ネットワーク検討会議」に、関係職員が参画し、地場産材の活用方策を検討。 ・県が中心になって組織している「ふくしま県産木材利用南会津地方連絡会議」に、関係職員が参画し、地場産材の利用拡大を検討。</p>
下 郷 町	<p>○林業に関する取組み ・治山ダムの型枠材における間伐材の使用を推進。 ・林業の作業道における間伐材丸太の使用を推進。</p> <p>○農産物直売所 桃曾根地区、林中地区、倉村地区、落合地区における直売。</p> <p>○学校給食 学校給食における下記食材の利用。 ・アスパラガス、ニラ、サヤエンドウ、トマト、ニジマス、リンゴ、地鶏、ナメコ、舞茸、リンゴジュース</p> <p>○その他 ・特産品であるじゅうねん産品の販路拡大等を図ることを目的に「企業組合十念しもごう」が設立された。 ・大内宿店頭での漬物等販売。 ・落合猿樂でのそばの販売。</p>
館 岩 村	<p>○「日本大地の会」と協力し、アワ等の栽培面積拡大と併せて有機栽培の推進を図った（五穀の里倶楽部）。</p>

町村名	具体的な実施内容
檜枝岐村	<p>○そばと舞茸、岩魚の生産・加工・消費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・村特産事業所の「特産品センター」で、村内の個人から休耕地を賃借してそばを生産し、加工した生そばを村内宿泊施設（旅館、民宿等）で消費している。また、舞茸もセンター内で生産し、同様に消費している。</li> <li>・岩魚についても、村特産事業所の「檜枝岐魚苑」で稚魚から成魚まで育成し、塩焼用・刺身・甘露煮・浦鉾等に加工し、村内宿泊施設（旅館、民宿等）で消費している。</li> </ul> <p>○地場産品の受託販売</p> <p>「檜枝岐で採れた物、作られた物」で販売できる物（山菜、キノコ、木工品、山椒魚等）を村営の木工品展示販売所にて受託販売する。</p>
伊南村	<p>○伊南村森林組合で舞茸の栽培販売時、村内旅館民宿、公共施設等において、てんぷらやみそ汁などの料理を提供。各種イベント等においても舞茸ご飯やきのこ汁として観光客等に提供。</p> <p>○地域内の木材（唐松）を使用した伊南村地域交流センター（H15年度着工）がH16年3月に完成。</p> <p>○大桃地区において、地元産の大豆を使った手造りの無添加発酵生味噌造りが行われている（村の特産品としての期待も大きい）。</p> <p>○農協女性部が中心となり、屏風岩前で野菜等の直売所を実験的に実施。</p>
南郷村	<p>○直売所組織への情報提供。</p> <p>○学校給食での地元産米使用。</p> <p>○直売グループ等による学校給食への食材等の提供。</p> <p>○「きらら289」での村物産の販売。各直売所（国道289号沿い）での農産物の販売。</p>
只見町	<p>○学校給食センター</p> <p>適宜、アスパラやトマト等の旬の野菜を取り入れている。また、只見で育てられた会津地鶏やイワナ等も定期的を使用している。</p> <p>○青空市場</p> <p>J A青空部会で町内3箇所の野菜直売所にて、地元野菜を産直している。また2学期から学校給食センターへ野菜の出荷をしている。他に生産者が町内各地の道路沿いで、トマトその他野菜の直売を実施している。</p> <p>○そば関係</p> <p>転作等で作付けされたそばをJ Aが買取り、只見町そば部会が、「そば道場」「季の郷・湯ら里」でそばを産直している。</p>

**相双地方における地産地消の取組状況**

市町村名	具体的な実施内容
原町市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農産物直売所の開設               <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内20カ所（J A 1カ所、個人19カ所）</li> </ul> </li> <li>○学校給食における地元農産物の活用（小中学校）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・米飯給食の週3回実施</li> <li>・地元産の農産物、牛乳、パン、麺の購入</li> </ul> </li> <li>○地産地消シンポジウムの開催（10/25）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・基調講演</li> <li>・パネルディスカッション</li> <li>・農産物直売コーナー</li> </ul> </li> <li>○農産物直売所マップの作成               <ul style="list-style-type: none"> <li>・2,000部</li> </ul> </li> <li>○グリーンコンシューマー講座の開催（2/28）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・基調講演</li> <li>・パネルディスカッション</li> </ul> </li> </ul>
相馬市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○直売所における地産地消の実践               <ul style="list-style-type: none"> <li>・峠の野菜（玉野地区住民有志）（6～11月）</li> <li>・高原野菜共同販売（収穫日）</li> <li>・そうま農業協同組合相馬中村果樹部会（9/20～10/31）</li> <li>・相馬市青空市場出店者会（日曜日朝6時～7時）</li> <li>・玉野高原野菜大町直売所（日曜日13:30～17:00）</li> <li>・J Aそうま女性部相馬方部ふれあい市部会 （日曜日13:30～17:00）</li> <li>・和田観光苺園（1月下旬～6月上旬）</li> <li>・松葉ガニまつり（1月～3月中旬）</li> </ul> </li> <li>○学校給食における地産地消の実践               <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小・中・養護学校16校での地元食材の使用 （ほっき貝、梨について、最盛期に使用）</li> </ul> </li> </ul>
広野町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○イベント等における地産地消の実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>・広野町ふれあいフェスタでの地元農産物の販売（5/3）</li> <li>・広野町サマーフェスティバルでの地元農産物の販売（8/16）</li> <li>・収穫祭における地元農産物の販売（11/22）</li> </ul> </li> <li>○農産直売所の開設               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと広野館1F（毎週土・日開催）野菜・加工品</li> </ul> </li> <li>○レストランによる地元農産物の活用               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと広野館2F（定休日：火曜日）米、野菜、しいたけ等</li> </ul> </li> <li>○J A南双葉女性部による朝市の開催               <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1日、11日、21日</li> </ul> </li> </ul>

市町村名	具体的な実施内容
<p>楢葉町</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○イベント等における地産地消の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋空散策歩こう会（地元産米のPR：試食200kg）</li> <li>・公民館等のイベント（米消費拡大推進）</li> </ul> </li> <li>○農産物直売所の開設 <ul style="list-style-type: none"> <li>・SUNサン夢ひろば実行委員会（生鮮野菜、山菜、花卉、加工品等）</li> </ul> </li> <li>○楢葉町農業改良推進委員会による青空市場の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・7/13～12/21 毎週土・日 午後1時～4時（生鮮野菜、花卉等）</li> </ul> </li> <li>○ならば特産品加工企業組合での販売（漬物、もち、加工品、サケ等）</li> </ul>
<p>富岡町</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「有・気・利サイクル研究会」の立ち上げ <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元スーパーで有機野菜の販売</li> <li>・地元住民へのPR</li> </ul> </li> <li>○えびす講市での地産地消の実施（11月） <ul style="list-style-type: none"> <li>・来場者に対する地元産米の無料試食（地元産米120kg）</li> </ul> </li> <li>○直売所における地産地消の実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・SUNサン夢ひろば（野菜、花卉、農産加工品、米）</li> <li>・下千里ひまわり会（野菜、花卉、農産加工品、米、惣菜）</li> <li>・王塚直売所（野菜）</li> </ul> </li> </ul> <p>※地域づくりサポート事業（やってみっぺ！とみおかスローフード）</p>
<p>川内村</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○イベント等における地産地消の実施、PR <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドウダンまつりでの地元農産物の販売（6/8）</li> <li>・OH湯といわなときのこのまつり（10/12） きのこ・特産加工品の販売、農産物の直売、地元のそば料理を提供</li> <li>・新そばまつり（11/16） 地元生産のそば料理を販売</li> <li>・寒晒しそばまつり、いわなまつり（3/20～3/21） そば、いわなの販売</li> <li>・そば打ち体験（通年）</li> </ul> </li> <li>○直売所「まあらっしえ」で実践販売 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元野菜、花、農産加工品、民芸品など</li> </ul> </li> <li>○学校給食における地元農産物の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所、小学校、中学校の給食（米：週4日、野菜等）</li> </ul> </li> <li>○村内山林から産出される間伐材の利用（杉、松） <ul style="list-style-type: none"> <li>・村内公共施設への焼杭の利用、観光案内板への利用</li> </ul> </li> <li>○直売所の設置（個人） <ul style="list-style-type: none"> <li>・無人直売所で地元野菜を販売</li> </ul> </li> <li>○地元そば粉の販売（かわうちの湯、いわなの郷） <ul style="list-style-type: none"> <li>・1kg：2,000円</li> </ul> </li> <li>○森林資源の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・杉、松等の間伐材の活用</li> <li>・村内公共施設への焼杭、観光案内板への利用</li> </ul> </li> <li>○飲食店での活動（通年） <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元生産のそば料理を販売</li> </ul> </li> </ul>

市町村名	具体的な実施内容
	<p>○観光施設での販路拡大（通年）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元生産のそば粉や水産加工品等を販売</li> </ul>
大熊町	<p>○学校給食における地元農産物の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米、みそ、梨、キウイ、鮭、野菜など</li> <li>・米飯給食、大熊中学校 4回／週 大野・熊野小学校 3回／週</li> </ul> <p>○直売所の開設（JAフレッシュおおくま）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週火・土曜日の2回開設</li> </ul>
双葉町	<p>○イベント等における地産地消の実施、PR</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・双葉町種苗市での地元農産物の販売（5/10～5/11）</li> <li>・農産物品評会（11/8～11/9） 地元農産物（野菜、花卉、果物等）の販売</li> <li>・双葉町ダルマ市（1/10～1/11） 地元米を利用したもちの無料試食、福投げもちの実施</li> </ul> <p>○直売所における地産地消の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいふたば産地直売所（野菜、花卉、果物、山菜、漬物）</li> <li>・双葉町郡山直売所（野菜、漬物、餅、花卉、山菜）</li> <li>・JAふたば女性部双葉支部夕市（野菜、花卉、山菜、餅、漬物）</li> </ul>
浪江町	<p>○学校給食における地元農産物の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週3回浪江町及びその周辺産のコシヒカリを使用</li> <li>・梨（10月に4回）</li> <li>・地元農家の生産した野菜を食材として活用 じゃがいも、ハウレン草、ミニトマト、いんげん、大根（通年）</li> </ul> <p>○請戸夕市実行委員会による夕市の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月～12月 第3土曜日</li> </ul> <p>○直売所における地産地消の実践（浪江町直売所協議会加入直売所）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA女性部朝穫りふれあいコーナー（野菜、果実、花卉、加工品）</li> <li>・もみの木広場（野菜）</li> <li>・室原野菜直売所（野菜、農産加工品）</li> <li>・谷津田野菜村（野菜、山菜、卵、農産加工品）</li> <li>・ふれあい夢市場（野菜、菓子、農産加工品）</li> <li>・ほのぼの市（野菜、菓子、農産加工品）</li> <li>・陶芸の杜おおぼり（大堀相馬焼の直売）</li> </ul> <p>○相馬双葉漁業協同組合請戸支所による夕市の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月、11月（第3土曜日）12/30実施</li> </ul> <p>○泉田川漁業協同組合による鮭の直売所の開設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月上旬～11月下旬まで実施</li> </ul> <p>○イベントにおける地産地消の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・十日市（11/22～24） 大堀相馬焼協同組合及び浪江町直売所協議会による販売</li> <li>・各農家生産の農産物の品評会及び即売会</li> </ul>

市町村名	具体的な実施内容
葛尾村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○直売所の開催（野菜、山菜）</li> <li>○学校給食における地元農産物の活用（穀類） <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所、幼稚園、小学校、中学校</li> </ul> </li> <li>○特産品の販売（宿泊施設「せせらぎ荘」） <ul style="list-style-type: none"> <li>・大尽うどん、豆菓子など</li> </ul> </li> <li>○イベント等における地産地消の実践、P R <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の恵感謝祭における地元農産物の販売（11/2）</li> </ul> </li> <li>○直売所における地産地消の実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「つくし」直売所（野菜、花卉、加工品等） （4～12月：水、日曜日 1～3月：日曜日）</li> </ul> </li> <li>○村宿泊交流施設における地元農産物の利用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「みどりの里せせらぎ荘」の料理に地元農産物 を活用 随時（直売所や農家から買い上げ）</li> </ul> </li> <li>○地元農産物を使った特産品の開発 <ul style="list-style-type: none"> <li>・おふくろフーズにおいて地元農産物を活用した加工品を開発販売</li> <li>・凍み餅、生餅、豆菓子等</li> </ul> </li> </ul>
新地町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○イベント等における地産地消の実施、P R <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業まつりでの地元農産物の販売（11/8～11/9） 米、野菜、魚、花、農産加工品、弁当</li> <li>・地場産品消費拡大による調査事業 野菜、魚、米、花、農産加工品、特産品</li> <li>・新地町都市農村交流推進協議会（体験学習時に地場産品を活用）</li> </ul> </li> <li>○直売所における地産地消の実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地場産市場（野菜、米、魚、花、農産加工品）</li> </ul> </li> <li>○しんち朝市会による朝市の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月第1日曜日</li> </ul> </li> <li>○学校における地元農産物の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食 米（週4回小・中学校4校） いも、豆、緑黄色野菜、魚、肉 （保育所4カ所、小・中学校4校）</li> <li>・放課後 米（おにぎり週4回中学校）火曜～金曜日 12月まで</li> </ul> </li> </ul>
鹿島町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○イベント等における地産地消の実施、P R <ul style="list-style-type: none"> <li>・「海のサケまつり」で地元鮭の使用、販売（10月第4日曜日）</li> </ul> </li> <li>○直売所における地産地消の実践（野菜、米ほか）</li> <li>○地元農産物の直売 <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内2カ所（町観光物産館「四季彩」、J A）</li> </ul> </li> <li>○酒「真野泉」の販売（地元産原材料「夢の香」米を使用）</li> <li>○学校給食における地元農産物の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・米、梨、きのこ類、味噌、醤油、ねぎ</li> </ul> </li> </ul>
小高町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○イベント等における地産地消の実施、P R <ul style="list-style-type: none"> <li>・懸の森山開きでの地元農産物の販売（4/29）</li> <li>・文化祭での地元農産物の販売（11/2～11/3） 野菜、ハム、手作り手芸用品等</li> </ul> </li> </ul>

市町村名	具体的な実施内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○直売所における地産地消の実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日向ぼっこ（米、野菜、味噌）</li> <li>・ほほえみ直売所（米、野菜、味噌）</li> <li>・愛和産業（すっぽん）</li> </ul> </li> <li>○地元農家による朝市の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・J A そうま小高業務所（毎週金曜日早朝）野菜</li> <li>・小高町役場駐車場（毎週日曜日早朝）野菜</li> </ul> </li> <li>○空店舗を利用した商工会女性部の取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひまわり」（衣料品、雑貨、装飾品、履物、手作り品、野菜、ギフト品等）</li> </ul> </li> <li>○学校給食における地元農産物の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・米（週3回）、大根、ねぎ等（小・中学校 計4校）</li> </ul> </li> </ul>
飯舘村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○イベント等における地産地消の実施、PR <ul style="list-style-type: none"> <li>・「はやま湖」森と湖まつり（7/26～7/27）農産加工品</li> <li>・「ふくしまビッグフェア」（8/23～8/24）花卉、野菜</li> <li>・までいな暮らしをともに考える集い（12/6～12/7） （牛肉、地域伝統食、農産加工品等の提供）</li> <li>・新春村民の集い（1/18）（農産加工品の販売）</li> </ul> </li> <li>○直売所における地産地消の実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・村内9つの直売所（野菜、茸、肉、花卉、農産加工品、墨、民芸品など）</li> </ul> </li> <li>○農産直売所の開設 <ul style="list-style-type: none"> <li>・村内1カ所 直売所「みちくさ」</li> </ul> </li> <li>○食材として「飯舘牛」の活用（ステーキハウスいいたて、宿泊体験館きこり）</li> <li>○「農の大地に生きる会」による「ばんかた農市」の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月下旬～10月の毎週土曜日</li> </ul> </li> <li>○地元農産加工品等の販売（ステーキハウスいいたて、宿泊体験館きこり）</li> <li>○学校給食における地元農産物の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・米（毎日）、ネギ、じゃがいもなど</li> <li>・牛肉：飯舘村と通常使用牛肉との差額補助（3回）補助額476千円</li> </ul> </li> <li>○地元産原材料（かぼちゃ、そば）を使った菓子を開発 <ul style="list-style-type: none"> <li>・村内の菓子店、直売所にて販売</li> </ul> </li> <li>○地元産原材料ブルーベリーを使ったリキュールを開発</li> <li>○地元石材を使った「愛の句碑」の設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>・村民の森あいの沢</li> <li>事業費：約5,000千円（福島県地域づくりサポート助成事業）</li> </ul> </li> </ul>

いわき地方における地産地消の取組状況

市町村名	具体的な実施内容
いわき市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いわき市遠野オートキャンプ場に新設したバーベキュー広場の屋根に、地元産杉材を使用。(4月) (商工会関係)</li> <li>○川前町商工会で「ふろんとしょっふ山の食。川前屋」を6月より川前町にオープンし、地元産品の販売を行っている。 (その他)</li> <li>○スローフード、地産地消の拠点として、地元の有志が三和町に「三和の里直売所」をオープン。(5月)</li> <li>○三和町地域振興協議会では、「三和の里うまい菜市」を毎週日曜日に三和町で開催するとともに、7月には小名浜のショッピングセンターでも開催した。</li> <li>○J A 遠野町女性部では、8月に農産物直売所をオープンした。</li> <li>○イベント「“わくわく” いわき2003」を開催、農産物コーナーなどを設けるなどしていわきの良さを市民に発見してもらった。(10/11・12)</li> <li>○「いわき発ものづくり創造コンテスト」を初めて開催。 製造品出荷額東北一の「工業都市いわき」をアピールするため、市内企業や個人から独創的な新技術や新製品を募り、入賞9点を選んだ。 (10/17)</li> <li>○第54回いわき産業祭を開催し、「再発見！新発見！いわきの“いいもの”探訪！」をテーマとして遠野和紙の紙すきなどの伝統産業や、今年度初めて開催された「いわき発ものづくり創造コンテスト」の入賞作品など地域資源を活用した新たな産業への取り組み等を市民にPRした。(11/1～2)</li> <li>○地場産品のPRと地産地消の推進を目的に「いわき・うまいものフェスティバル2004」を開催、いわきの海の幸・山の幸を使った鍋料理コンテスト、いわき産のメヒカリや川前町産ヒツジ丸焼きの試食会等を行った。(2/22)</li> <li>○いわき市水産振興室では、メヒカリなどいわきの魚の料理の仕方をまとめた「さかなを食べよう！魚料理レシピ集」を発行し、伝統的な浜料理の普及を行っている。(3/1より市民に配布《4,000部》)</li> </ul>